

- 一 日時 令和＊年＊月＊日（＊曜日）第＊限（50分）
- 二 学級 第三学年＊組（＊名）
- 三 単元名 自分自身にも関わる問題として文章の内容を捉えて、理解を深めよう
- 四 単元の目標

- (1) 主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めることができる。（知識・技能及び技能）(2) のア
 - (2) 関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めることができる。（思考力、判断力、表現力等）B 「読むこと」(1) のオ
 - (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。（学びに向かう力、人間性等）
- 五 取り上げる言語活動と教材

(1) 言語活動

社会的な話題について書かれた論説文やその関連資料を読み、それらの内容を基に、自分の考えを論述する活動。（思考力、判断力、表現力等）B 「読むこと」(2) のイを参照

(2) 教材 宮下紘「忘れられる権利」『＊＊＊＊＊』(2) のイを参照

六 単元の評価規準

- (1) 主張とその前提や反証などの情報と情報との関係について理解を深めている。（知識・技能）
- (2) 「読むこと」において、関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めている。（思考・判断・表現）
- (3) 作品の内容や資料に基づいて自分の考えを論述する活動を通して、学習課題に沿って粘り強く自分の考えの論理性を高めようと努め、積極的に作品の内容理解をしようとしている。（主体的に学習に取り組む態度）

七 指導観

(1) 単元観

筆者の問題意識を自分にも関わる問題として捉え、内容理解を深めることができる。また、本文の構成や論理展開を理解することで、筆者の問題意識や論旨を理解するという文章読解を習得することができる単元である。

(2) 学習者観

おおむね良好な学習態度であるが、さまざまな情報を精査しながら文章を理解する力に課題がある。複数の文章を読み比べる活動を通して、自分自身の力で文章の内容を理解する力を養いたい。

(3) 教材観

アメリカとヨーロッパという具体例の対比が明確であるため、評論の基本的な構成を学ばせることができる。さらに、その比較対照をすることで筆者が捉えている問題点を理解させるとい

八 単元の指導計画（配当時間5時間）

次 時間	学習活動	言語活動に関する指導上の留意点	評価上の留意点
第1次 3時間	<ul style="list-style-type: none"> ・単元の目標を理解する。 ・ワークシートIを用いる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・この単元の目標を伝え、生徒に理解させる。 ・どのような問題があるのか整理 	<ul style="list-style-type: none"> ◇観点 □点検、確認■分析 *「努力を要する状況」と評価した生徒への支援の手だて

資料5

<p>第2次 2時間</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「忘れられる権利」について各国・地域での対応の異同を、インターネット検索をすることで確認する。 ・検索結果や教科書本文を参考にして、今後の日本でどのような規定や哲学が必要かを考え、ワークシートIIに記述する。 ・生徒間でワークシートIIを交換し、相互評価をする。これを2〜3回繰り返す。 ・自分自身の振り返りをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートIを用いて、「忘れられる権利」についてのEUとアメリカの違いを理解する。 ・ワークシートIを用いて、日本における「忘れられる権利」の問題点を理解する。 	<p>て、筆者が捉えている問題点を理解する。</p> <p>ワークシートIを用いて、筆者の問題点の解決策を考える。</p> <p>理した後には、インターネットの「忘れない」問題が自分に関わることだと捉えさせる。</p> <p>全文読んでいない段階での自分なりの解決策を、周りと話し合いながら考えさせる。</p> <p>*根拠が明確になるように、思考ツールを用いて考えさせる。</p> <p>・両者の違いの原因を明確にさせる。</p> <p>*教科書の該当ページを指示して、ワークシートに取り組みせる。</p> <p>・日本での具体的な事例から筆者がどういう結論に至ったのかを確認させる。</p> <p>□「記述の点検」(ワークシートI)</p> <p>*話し合いを促すように、適切に助言をする。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・検索結果から分かったことをワークシートIIに書き出させる。 ・日本と他国との異同を確認させる。 ・ループリックの説明をし、記述の目標を明示しておく。 ・自分の考えの根拠も記述させる。 <p>*第1次で考えた解決策もヒントになることを助言する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手のワークシートにループリックに基づいた評価をし、更に、相手の考えの良いところも記述させる。 ・この単元の目標を再度確認させながら、自己の振り返りを促す。 <p>*ただの感想にならないように机間指導しながら助言をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・検索結果から分かったことをワークシートIIに書き出させる。 ・日本と他国との異同を確認させる。 ・ループリックの説明をし、記述の目標を明示しておく。 ・自分の考えの根拠も記述させる。 <p>*第1次で考えた解決策もヒントになることを助言する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手のワークシートにループリックに基づいた評価をし、更に、相手の考えの良いところも記述させる。 ・この単元の目標を再度確認させながら、自己の振り返りを促す。 <p>*ただの感想にならないように机間指導しながら助言をする。</p>	<p>◇(知)</p> <p>□「記述の確認」(ワークシートII)</p> <p>*検索する際のキーワードなどの助言をする。</p> <p>*机間指導しながら、随時助言をする。</p> <p>*隣同士での相談などをさせ、周りからの助言をもらいながら自分の考えを完成させる。</p> <p>◇(思・態)</p> <p>■「記述の分析」(ワークシートII)</p>

九 本時の具体的な目標

インターネットで検索した本文に関連する資料を参考にして、筆者の考える問題について現実の社会と結びつけながら、その内容の理解を深めることができる。

十 本時の具体的な評価規準

インターネットで検索した本文に関連する資料を参考にして、筆者の考える問題について現実の社会と結びつけながら、その内容の理解を深めている。(思考・判断・表現)

十一 本時(全5時間中の5時間目)の指導

観点	A	B	C
自分の考えを述べることで内容の理解を深める。(思考・判断・表現)	資料や本文の内容を踏まえながら、説得力のある論拠を示すとともに、自分なりの考えが述べられている。	資料や本文の内容を理解し、論拠を明示させて、自分の意見を述べている。	資料や本文に目を通し、自分の意見を述べている。
粘り強く学習に取り組み、積極的に自己を高めている。(主体的に学習に取り組む態度)	授業を通じて、自分自身の課題点や今回得ることができた能力を客観的に把握している。さらに、その能力を今後の学習に活用しようという具体的なイメージを想定できている。	授業を通じて、自分自身の課題点や今回得ることができた能力を客観的に把握している。	授業を通じて、自分自身の課題点や今回得ることができた能力を客観的に把握しようとして努力している。

十一 ループブリック

学習段階	学習内容	学習活動	言語活動における指導上の留意点
導入 (5分)	・ 本日の学習内容を 知る。	① 本時の目標と言語活動について確認する。	① 本文の内容に即した自分の考えを記述するという目標を確認する。
展開 (40分)	・ 前時の続きで、今後の日本でのような規定や哲学が必要なを考え、ワークシートIIに記述する。 ・ ワークシートIIを交換し、相互評価する。	② 検索結果やループブリックを参考にしながら、自分の意見を考えて記述する。 ③ 自分の考えの根拠を示すように注意する。 ④ 相手のワークシートに相手への評価を書く。 ⑤ ループブリックに基づいて相互評価する。	② 隣同士での相談などをさせ、周りからの助言をもらいながら自分の考えを完成させる。 ③ 机間指導しながら、随時助言をする。
終結 (5分)	・ 本時の内容を振り返る。	⑥ ワークシートIIの振り返りをする。	◆ ワークシートIIを回収し、ループブリックにより評価をする。

論理国語 授業プリント①「忘れられる権利」

組 番名前

一次の文章を読んで、以下の質問に答えなさい。(本文抜粋)

人は「忘れる」。しかし、インターネットは「忘れない」。

ひとたび、インターネット上に出た情報は、半永続的に残されたままの状態となる。デジタルの世界に生きる我々は、人間の本性である「忘れる」ことが難しくなっている。もちろん忘れやすい人間にとって、友人との写真などをインターネット上に残しておく利便性もある。しかし、思わぬ形で掲載された一枚の学生の頃の写真が、就職活動や後の人生を左右することもある。不祥事を起こした企業関係者の私生活に関する情報、軽微な事件を起こした加害者に関する住所や家族の情報がインターネット上に掲載された事件も報道されている。

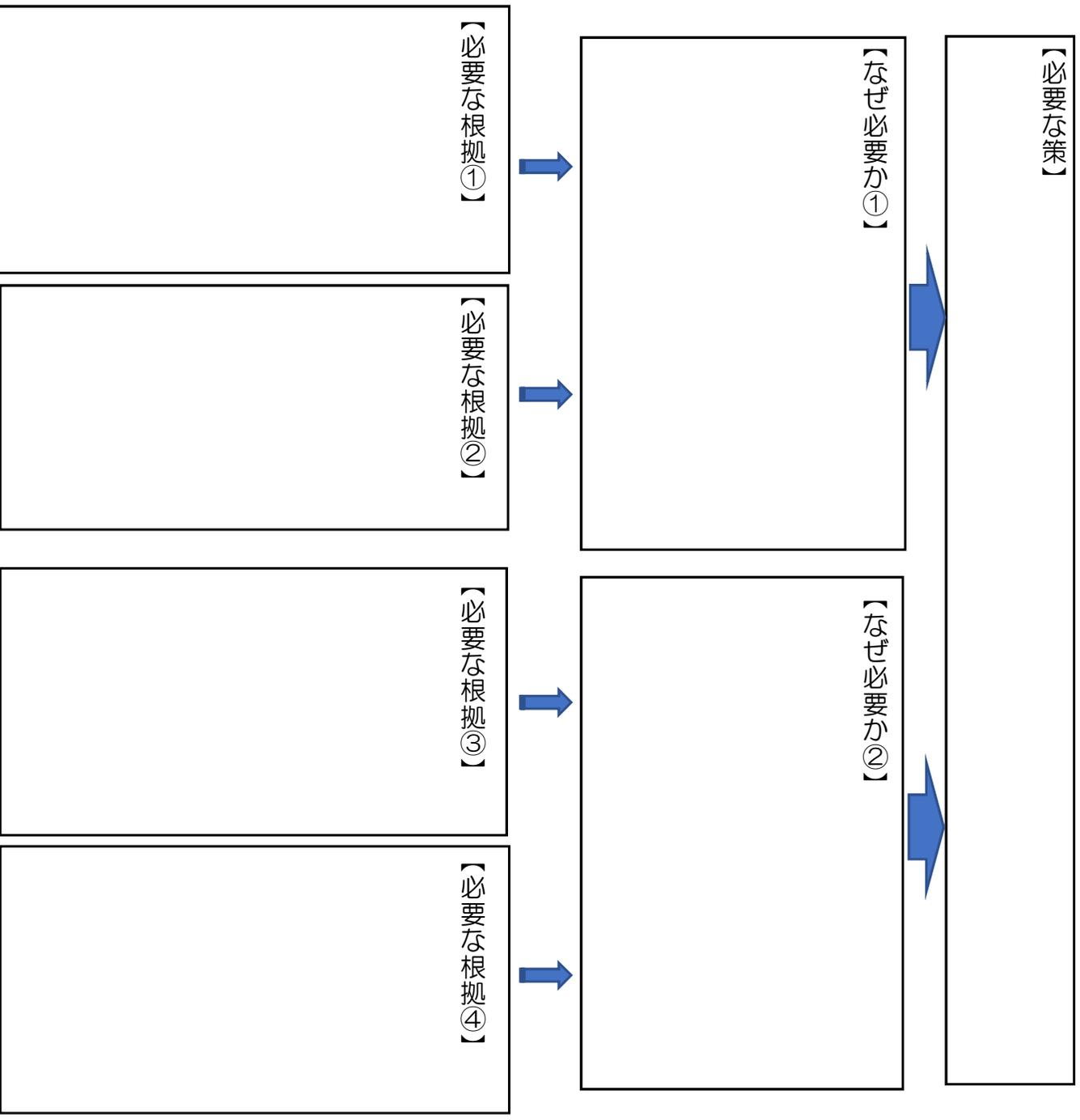
① この文章で取り上げられている問題(筆者が考えている具体的な問題)は何か。

② ①の問題を言い換えるといつ言えるか。本文を参考に次の空欄を埋めて答えなさい。

・現代人はその【 】である【 】が難しくなっている。

③ 右記の文章にあるような問題で、あなたの身近であった同様の問題(ニュース等で知っていたことも含む)を書いてみましょう。

④ ③で書き出した問題や上記の本文にあるような問題が生じた際、どのような解決策が必要だと思うか。左の図を使いながら、話し合って一つの案とその根拠を考えよう。



⑤ 本文中では、このような状況で、何が求められるようになったのか。教科書P.344の9行目から読んで答えなさい。

【A】

】

二 教科書(P.344)の6行目()を読んで、次の質問に答えなさい。

⑥ ⑤で答えた【A】が作られた経緯をまとめなさい。

・最初に提案された場所(国)：

--

・どういった目的で(何のために)作られたのか…

(A)

(B)

・何がでるようになったのか…

--

⑦ EJUで【A】が発達した背景にはどんな問題があったのか。答えなさい。

--

↓つまり、【 】を重視してのNEW JAPAN。

⑧ アメリカでは【A】はどう扱われているのか。また、それはどういった背景があるのか。次の文の空欄を埋めて答えなさい。

・アメリカでは【 】よりも【 】を重視視してきた。

・そのため、【 】の権利を認めない【 】の権利を認めない。

・プライバシー権は【 】からの自由が目的。

→ 【 】よりも【 】の方が優先度が高い。

⑨ ⑦のE.U.と⑧のアメリカを比較すると、まったく対応が異なることが分かる。筆者はこの違いを何の差が出ていると書き添えているか。答えなさい。

三 次の質問に答えなさい。

⑩ 日本における「知られる権利」について、次の空欄を埋めてまとめなさい。

●考察(A)

・現在は、検索サイトの運営会社が【】の【】を公表するようになった。

・しかし、他の検索サイト会社でそれが運用されるわけではないので、【】が作った【】な【】が必要になる。

●考察(B)

・日本の裁判所が、EUの裁判所と異なる判決をした場合、【】
【】が存在してしまうことになる。

●筆者の結論

・「知られる権利」は、【】な課題であり、
日本だけの問題ではない。

・だから、【】な議論ではなく、日本においても
【】が【】のかと
【】を見直す時期だと言える。

論理国語 授業プリント②「忘れられる権利」

一次の資料を読み、「忘れられる権利」について各国・各地域の対応をまとめなさい。

① ヨーロッパ

※判決の内容・記事の主張・他の国と異なる(同じ)結果など…

--

② アメリカ

※判決の内容・記事の主張・他の国と異なる(同じ)結果など…

--

③ 日本

※判決の内容・記事の主張・他の国と異なる(同じ)結果など…

--

二 今後の日本において「忘れられる権利」をどのように保障すればいいのか。また、その際どのような「基本的哲学」が必要かと思うか。あなたの考えを書きなさい。

--

資料5

●振り返り…1日の取組を通じて学習してきたこと、今後「活かせる」ような能力、反省点を。

	名前	評価	よかった点
3			
2			
1			

●自分の考えを書く評価基準（ルーブリック）※表の①～④を満たしているかどうか
 ●他の人に自分の考えを見てもらい、コメントをもらおう

評価	A	B	C
達成度	①質問内容に適切に答え している。 ②資料や本文の内容を踏 まえている。 ③説得力のある論拠を示 している。 ④ <u>現実に即した自分の意 見を述べている。</u>	①質問内容に答えている。 ②資料や本文の内容を踏ま えている。 ③論拠を明示している。 ④自分の意見を述べてい る。	上記(B)の①～④の基準のい ずれかを満たしている場合

() (組) () (番名前) ()